

☆無知の知 「てんかん」という現実 静岡新聞 [連載企画]

◇序章 治療の現場で

> 有病者が100人に1人とされる「てんかん」。誰でも発病する可能性があるにもかかわらず、多くの患者はてんかんを公言できないでいる。学校や就労など、さまざまな場面で差別や偏見を感じながら生活している人は少なくない。「無知の知」。そう語り真理を追究した古代ギリシャ哲学の祖・ソクラテスはてんかんの持病を抱えていたといわれる。私たちはこの病気について何も知らないのではないか。偏見が無くならないのも無知であるが故ではないのか。てんかんを正しく理解するために、無知を認めることから始めたい。

…などと伝えています。

* (1) 13歳、発作と闘う 2018/1/13

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/444482.html>

* (2) 母子、望み託す 2018/1/13

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/444483.html>

* (3) 看護師の思い 2018/1/13

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/444769.html>

* (4) 父母、苦悩の末に 2018/1/13

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/444475.html>

* (5・完) 28歳学び、向き合う 2018/1/13

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/444474.html>

◇第1章 車社会とのはざままで

> 発作による重大交通事故の発生を契機に社会から厳しい目を向けられているてんかん。被害者や遺族の心情に理解を示した上で、専門医らは臆測で危険性が強調される風潮に警鐘を鳴らす。車社会が浸透した現在、私たちはこの疾患とどう向き合い、悲惨な事故の再発防止策を講じるべきか。静岡県内で発生した一つの事故を中心に取材した。

…などと伝えています。

* (1) 「なぜ事故」消えぬ自責 2018/2/12

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/456217.html>

* (2) 亡き妻のため「真相を」 2018/2/12

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/456218.html>

* (3) 過失判断、相反する見解 2018/2/12

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/456219.html>

* (4) 持病申告、悲劇防ぐため 2018/2/12

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/456221.html>

* (5・完) 運転再開 克服への一歩 2018/2/12

<http://www.at-s.com/news/article/featured/social/tenkan/456416.html>